

創刊号 2008.8

(社)静岡県建築士会 中部ブロック4支部合同誌

(社) 静岡県建築士会・清水支部



事務局

〒424-0037 静岡市清水区袖師町1107

tel.fax 0543-65-5141

e-mail: shikai-shimizu@ka.tnc.ne.jp

<http://www3.tokai.or.jp/shikai-shimizu/>

編集：広報委員会

支部だより



(社) 静岡県建築士会静岡支部

<http://www.shizu-shikai.com>

2008年8月号 No. 405

会報 うごき

編集・校正・発行 静岡建築士会志太支部 〒426-0082 静岡県藤枝市瀬古3丁目12-15 Tel 054-644-1390

ホームページ <http://www3.tokai.or.jp/atsida/> E-メールアドレス [atsida@za.tnc.ne.jp](mailto:atsida@za.tnc.ne.jp)

建築 はいばら

編集発行 静岡県建築士会榛原支部 静岡県牧之原市静波1448-1 榛南建築高等職業訓練校内

## 平成20年度 清水支部通常総会

去る4月25日（金）午後4時から清水テルサにおいて、「平成20年度清水支部通常総会」が、運営委員会（青沼委員長及び栗田新委員長）の軽快な司会進行のもと、行われました。

松永支部長のあいさつに引き続き、議長に鈴木悦夫氏が選出され、議事が進行しました。

まず19年度の事業報告と収支決算及び監査報告が行なわれました。

会員動静：正会員158名（入会者4名・退会者6名）  
賛助会員25社（退会者2社）

次に静岡県建築士会が平成21年度からの公益社団法人化及びブロック化のために、今年度に限り役員任期を1年とすることについての報告がありました。そして本年度は役員改選の年にあたる

ため、新任の理事が選出され、支部長には総会の承認を得て望月廣道氏が就任し、抱負を話しました。20年度の事業計画と収支予算案が審議の上承認されて議事はここで終了。議長から司会に進行がバトンタッチされ、その後、会員の表彰式があり、総会は滞りなく執り行われました。

懇親会までの時間には二胡の演奏会がありました。キーボードを伴奏にしたミニコンサートに、暫しのあいだ哀愁をおびた音色をたんのうしました。

懇親会は来賓のあいさつにはじまり、アトラクションとして豪華景品抽選会や尻相撲などが行われ、会員同士の親睦もより一層深まった一日でした。



総会の様子



二胡の演奏会



懇親会



懇親会（尻相撲）

## 新任役員あいさつ



清水支部支部長  
望月 廣道

平成20年度、清水支部支部長となりました望月廣道です。支部長職の大役を受けることになり責任の重圧を感じている今日このごろですが、皆様のご協力をいただきながら、清水支部の発展のため前進的な活動を心掛けて

運営を進めていく思いであります。

建築士会における諸問題には、平成21年度より予定されるブロック化への組織改変問題・会員の減少問題・建築士会の市民への知名度の低さ等々数多くありますが対応として、

- ブロック化については、支部内に支部長経験者等を含んだ新執行部によるブロック化準備室（又は委員会）を設置し、次年度からのブロック化への支部の新組織作りの準備を行なう。組織づくりには次世代をになう、各委員会委員長・委員の方々にも必要に応じ会議に参加をお願いし、改悪にならない組織づくりを目指していきたいと思っています。
- 会員の減少問題は大きな問題ですが、新入会員が少ない現状からいかに退会者を減らして行くかが問題と思います。現在の会員・賛助会員の皆様のメリットを考慮して建築関係の講習会・勉強会の開催による情報提供、賛助会員による商品説明会などを活発に行なう必要があります。会員の高齢化による退会もあり、新入会員を増やす事は組織存続のためには不可欠のテーマです。一部の役員だけでなく会員全員の課題として新入会員の増加にご協力をお願いします。
- 地域市民への知名度を増す活動は、各種建築相談・無料耐震診断事業・小学校での地域貢献事業・興津川清掃や職人まつり等のイベントへの参加など今までも活動しておりますが、今後も地域市民に必要とされる団体になる様、各種事業を会員のお力をいただき開催して行きたいと思えます。地域市民に認められる事が、何らかの形で仕事にも反映でき、入会している意味にもつながると考えています。

〔自分から動く事で人と出会い、出会うことで自分を広げる（仕事も）…と思います。〕

建築士会は建築士個人の集団であり、個人の貴重な会費による限られた予算の中での活動の為、活発な活動をすればするほど主催する役員の方々のボランティアでの負担が増えてしまう事になりますが、各委員会をはじめ、事業を主催される皆様には積極的な企画・運営をお願いします。

他支部の方より、清水支部は「仲良し会」とよくお聞きしますが、建築士会の構成員は設計・施工・販売等関連同業種の商売ガタキの人々が集まった団体です。そんな中「仲良し会」で組織運営が出来る事はすばらしいと思います。これからも各種事業や懇親会等を楽しみながら出来る組織になる様、支部会員全員の一層のご協力と事業への参加をお願い致します。



副支部長(広報委員会担当)  
大石 信之

今まで二期四年副支部長として運営委員会を担当させて頂いておりましたが、今期より広報委員会担当副支部長として新たに任命されました。今まで広報委員としても活動していたので、内容としては今までの延長という感じなのですが、来年度より支部のブロック化に伴い、活動内容等も変化していく中で、どの様に対応していくかという問題を解決する事が急務だと思います。

今後支部単位からブロック単位へと移行する物事の中で、どの様に今までの支部の会員の皆さんに情報を平等に伝えていく事が出来るかという事と、新しい中部支部ブロック化による組織の改編、活性化などに尽力する所存です。また本会試験委員会も新機構に移行する為の準備もありますので、会員皆様のご協力ご指導よろしくお願いたします。



副支部長  
(経理・事業委員会担当)  
水上 茂樹

平成20年度、清水支部副支部長の水上茂樹です。建築士会に入ってまだ10年足らずの若輩者ですが皆さん宜しくお願いたします。来年度からのブロック化に向け、建築士会の組織もいろいろな面で機構改革がなされ

## 清水支部

る事になると思われます。望月廣道支部長の下、副支部長の仕事を他の4名の副支部長と共に力を合わせ、皆さんの期待に応えられるよう一所懸命に努めたいと思います。

私は、入会してからこれまで支部内では主に事業委員会（旧：技術委員会）での活動をして来ました。その中で私自身の活動は、これまでどちらかと言えば、ただ漠然と行事と役割をこなしてきただけに過ぎなかったのではと覚えてなりません。その点を深く反省し気持ちを切り替え、副支部長としてこの一年を頑張りたいと思います。

今、一番気になっている事は、様々な建築士会での行事そして各委員会活動において、そこに参加してくれているメンバーがいつも同じだということです。同じメンバーであれば、ある意味気心が知れていてやり易い面はありますが、やり甲斐や新鮮さは序々に薄れているような気がしてなりません。また、逆に毎回同じメンバーに負担を掛ける事にもなります。こうしたことでは活動そのものに活気が無くなっていくのではと心配もしています。ここ数年は、毎年、新入会員も加わりますが退会者を上回るほどの入会は無く、少しずつ会員が減っているのが現状です。士会活動に影響を及ぼすほど会員の数減った訳ではありませんが、今の段階で何かの手立てをしなければいけないと思います。

清水支部の活性化の為に何が 필요한のか、会員の為に何が 필요한のか、そのあたりを会員の皆さんと一緒に見直してみたいと思います。



副支部長  
(運営・会員委員会担当)  
青沼 靖

こんにちは、今期初めて副支部長の大任を仰せつかりました青沼です。私は建築士会に入って11年、初年度から運営委員会に所属しており、昨期までは運営委員長を3年努めさせていただきました。今期思いがけず副支部長という大任を任せられました

事は、はたして自分にこのような役が務まるか大変不安です。いままでは委員会の事だけを考えていればよかったけれども、これからは清水支部全体のこと、また他支部との関係までも考えていかなければなりません。

今期は本会の再編、またそれに伴う県のブロック化と言う静岡県建築士会にとって激動な年になると

思われます。このような大切な転換期に執行部の一人になることは名誉であり、また不安でもあります。支部以外のことは良く分かりませんが、自分なりに一生懸命に出来ることを頑張っていきたいと思っています。

最後に私はこの会が好きです。この会がより良くなるように努力していきます。会員の皆さんもご協力宜しくお願いします。



副支部長(運営委員会担当)  
運営委員長兼任  
栗田 正光

静岡県建築士会の中ブロック化に伴う新体制移行については視界も不透明ですが、任期も単年度ということもあり、清水支部の副支部長、運営委員長を務めさせて頂くことになりました。運営委員会では異業種交流といった側面も打ち出しながら、建築士会の活性化に貢献できるよう努力していこうと思います。青沼副支部長や各運営委員の方々とスクラムを組み自然体かつ等身大の動きの中に有意義な活動を見いだして行きたいと思いますので忌憚らないご意見やご要望などをお寄せ下さい。宜しくお願いします。



副支部長  
(青年委員会担当)  
池ヶ谷紀行

このたび平成20年度清水支部副支部長青年委員会担当を仰せつかりました池ヶ谷紀行です。

諸先輩方がたくさんいらっしゃるのになぜ？自分がと、このお話を戴いたときに申し上げたのですが諸般の事情？と委員会担当なんだけど支部のシステム上副支部長になる！とのことで青年のオーバーエイジ枠？見たいな感じでお受けすることにいたしました。

ここ数年、市町村合併や大幅な法改正など毎年のように取り巻く環境等が変化し、それに対応するのにもひと苦勞ではないでしょうか？

今度は士会のブロック化ということで、どのようになっていくのか？変えることでよくなっていくのか？まだまだ不勉強でわからないことばかりですが、今年一年準備期間としての仕事のお手伝いをできればと思っております。どうぞ皆様よろしくお願いたします。

## 委員長あいさつ



会員委員長  
小林 正 計

こんにちは、由比の小林です。と言ってもこの11月からは、清水区へ仲間入りとなりますので、よろしくお願ひします。士会活動の経験は浅く、皆さんのご指導を受けながらやっていきたいと思ひます。

会員委員会の役目でもある士会への入会促進のために、何をすべきか、苦心しています。先ず、会員の私達が入会して良かったという実感を持つことが大事ですが、具体的には、会合、研修会、見学会等を通じて、会員同士の交流の活発さをアピール出来たら「私も入会しよう」という建築士を掘り起こすことが、出来たらなと思ひます。

冒頭にも触れましたが、これから更に清水方面への機会が増えるかと思ひますが、皆さんもぜひ、同じ清水区の由比へ なおいっそう、お出掛け下さい。広重美術館、桜えび、だけでなく、東海道由比宿の街並を西に延ばせば、山岡鉄舟で知られる望嶽亭は江戸期の伝統式工法の建物がありますし、北へ向かえば、入山には親水公園といった日本の原風景を思ひ起こすような自然を味わえることと思ひます。最後に、人と人との、ふれあいを大事にし、皆さんのエネルギーを吸収させていただきたいと思ひます。



事業委員長  
柴田 英 明

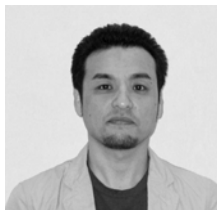
今年度も引き続き事業委員長をやることになりました。といっても、後任を選出するタイミングがつかめず、めんどくさいからもう少しやっとう見たいな感じで流れてます。建築士会全体でも若手不足で、役職をやる人はいつも決まった人ばかり、そんな体制の中で委員会活動をしていてもいわゆるマンネリです。事業委員会の仕事もここ数年ぱっとしたものが無く、今ひとつ活動に張り合いがないですが、ここはひとつ委員最年少ということもあって、なにか新しい風を起こしてみようかと思ひています。



広報委員長  
平岡 健 一

本年度、前委員長の話術により、支部広報委員長を仰せつかってしまいました平岡でございます^;。

支部活動には、背伸びせずをモットーに参加してたので、委員長！それも広報委員長？まさか自分にそんな役が回って来るとは思っなくて、活動だけ参加してれば良いと決めつけてただけに、困ったなあと、今はそんな事で頭が一杯です。支部の仕組みをしっかりと理解してないままな自分ですが、出来る事を頑張っ行ってこうと思ひますので、会員の方、広報委員の方のお力をお借りする事ばかりかと思ひますが、宜しくお願ひします。支部サイトの充実も含めて、広報委員会の活動を頑張りたいです。



青年委員長  
石垣 健

清水支部青年委員会の委員長を二期目、今年度一年間やる事になりました石垣です。

他の支部でも同じだと思ひますが、青年委員会は他の委員会と違い年齢制限があります。今の支部の会員状況は減少傾向です。このままで行きますと数年後には青年委員がほとんどいない状態になってしまいます。今後は会員の増員をするような取り組みをしていかなければならないと思ひます。清水支部の青年委員会は、年間で絶対に行なわなければならないと言う行事がなく、良いように考えると何でも好きな事が出来ますが、積極的にやらないと何も活動しない委員会になってしまいます。一期目の二年間は、ほとんどたいした活動をしなかったため今年度は支部の青年委員の方々と協力しあって会員を増員出来るようなきっかけになるような活動を行いたいと思ひます。

## 新入会員の紹介



漆 畑 京 子

鈴木建築事務所の漆畑です。趣味は子育て。只今大奮闘中。子供達の明るい未来のため、環境のこと、教育のことにとっても興味があります。どちらも建築を通じて出来る事が沢山あると思っています。宜しくお願いします。



松 永 卓 政

はじめまして、(株)メガロホームの松永卓政です。1年目から旅行、士会の方との飲みケーションなど参加させていただき、大変居心地の良い会だと思いました。まだまだ建築経験も少なく、吸収する懐はたくさんありますので宜しくお願い致します。



杉 山 智 之

大学入学以来離れていた清水に一昨年戻り、それまでとは違った視点で地元を観ることを楽しんでいます。建築を通じた地域づくりに、士会の活動を通じても参加していければと考えています。宜しくお願いします。



渡 邊 和 仁

はじめまして、(株)山梨組の渡邊です。普段は施工関係の仕事をしていて図面を描くのも施工図等がほとんどです。建築士会に入会させて頂いたのを期に少しでも設計に関する知識を吸収できればと思っています。今後ともよろしくお願い致します。

## 平成20年度 通常総会

平成2008年 4月24日(木)  
於：ホテルアソシア静岡

## ■ 通常総会次第

1. 定 足 数 報 告
2. 開 会 の 言 葉
3. 物 故 者 冥 福 祈 願
4. 支 部 長 挨 拶
5. 新入会員及び賛助会員報告
6. 来 賓 紹 介
7. 来 賓 祝 辞
8. 議 長 選 出 ・ 議 長 着 席
9. 議 事
  - 第1号議案 平成19年度事業報告
  - 第2号議案 平成19年度決算報告  
会計監査報告
  - 第3号議案 役員改選
  - 第4号議案 平成20年度事業計画案審
  - 第5号議案 平成20年度収支予算案審議
10. 議 事 終 了
11. 閉 会 の こ と ば

## 第1号議案 平成19年度事業報告

1. 総 会 場所 清水テルサ 19. 4. 27
  - (1) 平成18年度事業報告
  - (2) 平成18年度決算報告  
会計監査報告
  - (3) 平成19年度事業計画案審議
  - (4) 平成19年度収支予算計画案審議
2. 定例役員会(理事会)
  - 第1回 平成19・20年度の常設委員会委員候補者の推薦について H19. 5.10
  - 第2回 事務局移転・事務局員雇用について H19. 6. 7
  - 第3回 将来構想とブロック化について H19. 7. 5
  - 第4回 あんしん住まい相談会の予備事前相談について H19. 8. 9
  - 第5回 中部ブロック会議について H19. 9. 6
  - 第6回 選考委員会立上げ準備について及び産業フェア参加について H19.10. 4
  - 第7回 中部ブロック会議について H19.11.15
  - 第8回 住宅推進協議会「改正建築基準法」要望依頼について H19.12.16
  - 第9回 本会副会長・常務理事の推薦について H20. 1.31
  - 第10回 建築士試験委員と試験監理委員の選出について H20. 3. 6
  - 第11回 静岡支部ブロック検討委員会立上げについて H20. 4. 3
  - 第12回 支部通常総会について H20. 4.24

## 3. 会 議

- |                |     |
|----------------|-----|
| (1) 事業委員会      | 7回  |
| (2) 会員委員会      | 12回 |
| (3) 広報委員会      | 10回 |
| (4) 青年委員会      | 10回 |
| (5) まちづくり研究委員会 | 7回  |
| (6) 減災特別委員会    | 4回  |
| (7) 三 役 会      | 12回 |

## 4. 委員会活動

- (1) 清水マリンフェスティバル レガッタ大会練習(本戦中止)  
(青年) H19.6.17、24、7.8
- (2) 能登半島沖地震視察及び勉強会(51名)(減災) H19. 7. 1
- (3) 二級建築士設計製図講習会(4名)(事業) H19. 9. 1
- (4) 学生建築デザイン合同展(住宅展合同開催)(青年)  
H19.9.15~17  
H19. 9.17
- (5) 技術講習会(42名)(事業)  
H19. 9.17
- (6) 建築士会オリエンテーション  
23名・未加入4名うち1名入会(青年) H19.10.20
- (7) 「ちょっと早めの忘年会」(66名)(会員) H19.11.22
- (8) 安心のための技術講習会(会員) H19.11.22
- (9) 本会青年委員会青年委員ミーティング参加(青年) H20. 1.12
- (10) 富士宮山本勘助ゆかりの地見学会(12名)(青年) H20. 3. 2
- (11) 5支部対抗サッカー大会(22名)(青年) H20. 3.16
- (12) 「産業フェア」参加(青年・まち研) H19.12.15~16
- (13) ねんりん「10回」(広報)
- (14) インターネットホームページの管理(広報)
- (16) 防災及び耐震に関する勉強会(減災)
- (16) 耐震補強相談会への参加(16)(減災)

## 5. 講師、委員派遣

- (1) 静岡県中部流域林業活性化センターへ委員派遣
- (2) 屋外広告物協会研修会へ講師派遣
- (3) 静岡市花と緑のまちづくり協議会へ理事派遣  
(緑化作品コンクール審査へ審査委員派遣)
- (4) 地震対策特別委員会への協力
- (5) 静岡地裁及び簡易裁判所の調停委員会へ委員派遣
- (6) 地域材活用住宅推進協議会(杉柱100本プレゼント事業)へ委員派遣
- (7) 宇津ノ谷まちづくり協議会景観部会へ委員派遣
- (8) 静岡県プロジェクト耐震診断「TOUKAI-0」調査への協力
- (9) 静岡市地域リハビリテーション推進協議会へ委員派遣
- (10) 静岡市景観形成ガイドライン策定懇話会へ委員派遣
- (11) 静岡市建築物等減災ネットワーク協議会へ委員派遣
- (12) 静岡市福祉用具・住宅改修普及事業者協議会へ委員派遣

## 6. 相談員派遣(事業委員会)

- 無料建築相談 静岡市民生活課(1F) (第1.3火曜日)計4回  
高齢者福祉相談 静岡市社会福祉協議会(毎週木曜日)計19回

## 7. 中部ブロック会議

- (1) 将来構想とブロック化概要説明とブロック化検討組織

## 静岡支部

- 立ち上げについて H19. 8. 3  
 (2) 本会会長選考委員選出とブロック化の問題点・課題について H19. 8.31  
 (3) 本会会長の改選・推薦についてとブロック化の問題点・課題について H19.10. 5  
 (4) 本会副会長・常務理事の改選・推薦について H19.11. 9  
 (5) 将来構想とブロック化における問題点と課題について H19.12.17  
 (6) 将来構想とブロック化における問題点と課題について H20. 2.21

### 8. その他

- (1) 1級建築士免許登録事務への協力  
 (2) 試験願書配布(1級・2級・木造建築士)  
 (3) 応急危険度判定士連絡・参集訓練及び減災推進活動に関する協力

- (4) 「建築士の日」全国統一事業への協力  
 (5) 静岡市市民景観大賞への協力(隔年)  
 (6) 伝統の中から現代の建築と風土を考える会(とろうかい)への協力  
 (7) 大工組合「親子ふれあいフェスティバル」への協力  
 (8) 「産業フェア」への協力  
 (9) 全国大会(北海道)への参加

### 9. 同好会

- (1) サッカー同好会(5支部サッカー交流会3月16日に参加、月2回の練習)  
 (2) ツーリング同好会  
 (3) 木遣り歌いたい



## 第4号議案

## 平成20年度 事業計画

社団法人 静岡県建築士会静岡支部

### ○会議

- 支部総会 年1回 4月下旬～5月中旬の間に開く。  
 常任理事会 必要に応じて随時開催する。  
 理事会 毎月を原則として必要に応じて随時開催する。  
 三役会 支部直轄事業及び委員会に属さない事業を担当する。  
 支部総会の企画運営  
 他支部との交流  
 賛助会員との交流  
 他団体との交流  
 静岡市との判定士協力協定の推進  
 行政との打合せ会等

### ○各委員会事業

- 事業委員会 ○ 建築相談(原則として月2回)  
 ○ 高齢者福祉相談(原則として月4回)  
 ○ 清水支部と合同2級建築士試験製図講習会の実施  
 ○ 技術勉強会  
 ○ 会員拡大  
 会員委員会 ○ 会員の増強に関すること  
 ○ 福利厚生  
 ○ 建築士会のPR  
 ○ 土会組織、運営についての提言  
 ○ 会員親睦事業  
 ○ 全国大会への協力  
 ○ 講習会  
 広報委員会 ○ ねんりんの発行  
 ○ 本会広報委員会への協力  
 ○ 他支部編集委員との交流  
 ○ インターネット上のホームページとメー

### リングリストの運営

- 青年委員会 ○ 青年建築士拡大事業(新入会員オリエンテーション)  
 ○ 勉強会・見学会  
 ○ 清水羽衣レガッタ参加  
 ○ 青年建築士の集い(中部北陸ブロック大会協力)  
 ○ 学生建築合同展  
 ○ 各サークル主催行事への支援活動  
 まちづくり研究委員会 ○ 見学会  
 ○ 活動報告会  
 ○ 勉強会(まちづくり関係)  
 ○ まちづくりのPR活動  
 減災特別委員会 ○ 耐震補強および応急危険度判定の協力  
 その他の事業 ○ 大工組合との各種事業への協力  
 ○ 宇津ノ谷「まちづくり協議会」への協力  
 ○ 静岡市森林振興協議会への委員派遣  
 ○ 地域材活用住宅推進協議会(杉柾柱100本プレゼント事業)へ委員派遣  
 ○ 行政との各種事業への協力  
 ○ 静岡市地域リハビリテーション推進協議会へ委員派遣  
 ○ 静岡市福祉用具・住宅改修普及事業者協議会へ委員派遣  
 ○ 静岡市花と緑のまちづくり協議会へ委員派遣  
 ○ 応急危険度判定士連絡・参集訓練及び減災推進活動に関する協力  
 ○ 静岡県プロジェクト耐震診断「TOUKAI-0」調査への協力  
 ○ 非木造耐震診断調査



## 平成20年度一般会計収支予算書

第5号議案

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

総収入額 9,000,000円也

総支出額 9,000,000円也

社団法人 静岡県建築士会静岡支部

## (1) 収入の部

| 勘定科目        | 予算額       | 前期予算額     | 増減       | 摘要                                  |
|-------------|-----------|-----------|----------|-------------------------------------|
| 1. 会費収入     | 6,768,600 | 7,120,200 | -351,600 | 15,000×288名+ヤング4,400×2+シルバー15,000×4 |
| 1 正 員 会 金   | 4,388,800 | 4,543,200 | -154,400 | 10,000×59社                          |
| 2 賛 助 交 付   | 590,000   | 630,000   | -40,000  | 3,120×290名                          |
| 3 本 部 交 付   | 1,789,800 | 1,947,000 | -157,200 | 15,000×59社                          |
| 2. 事業収入     | 430,000   | 685,000   | -255,000 |                                     |
| 1 各種用紙頒布収入  | 200,000   | 220,000   | -20,000  | 用紙頒布収入                              |
| 2 表示板収入     | 110,000   | 150,000   | -40,000  | 表示板                                 |
| 3 講習収入      | 105,000   | 300,000   | -195,000 | 二級製図講習会                             |
| 4 広告料       | 15,000    | 15,000    | 0        | 広告料                                 |
| 3. 補助委託金    | 330,000   | 780,000   | -450,000 |                                     |
| 1 委託金       | 300,000   | 750,000   | -450,000 | 高齢者福祉相談                             |
| 2 補助金       | 30,000    | 30,000    | 0        | 支部交流補助金                             |
| 4. 雑収入      | 165,498   | 312,804   | 147,306  |                                     |
| 1 受取利息      | 4,000     | 500       | 3,500    | 銀行預金利子                              |
| 2 雑収入       | 161,498   | 312,304   | -150,806 | TOUKAI-0他                           |
| 5. 積立預金取り崩し | 0         | 500,000   | -500,000 |                                     |
| 1 積立取崩      | 0         | 500,000   | -500,000 |                                     |
| 2 有価証券取崩    | 0         | 0         | 0        |                                     |
| 6. 前期繰越     | 1,305,902 | 501,996   | 803,906  |                                     |
| 1 前収支差額繰越   | 1,305,902 | 501,996   | 803,906  |                                     |
| 合計          | 9,000,000 | 9,900,000 | -900,000 |                                     |

## (2) 支出の部

| 勘定科目           | 予算額       | 前期予算額     | 増減         | 摘要               |
|----------------|-----------|-----------|------------|------------------|
| 1. 管理費         | 6,050,000 | 6,809,000 | -759,000   | ※TOUKAI-0事務管理費含む |
| 1 給料手当         | 1,800,000 | 2,850,000 | -1,050,000 | 職員給料手当           |
| 2 福利厚生費        | 440,000   | 380,000   | 60,000     | 保険料・厚生費          |
| 3 旅費交通費        | 900,000   | 750,000   | 150,000    | 総会・理事会・三役会       |
| 4 通信費          | 180,000   | 130,000   | 50,000     | 交通費              |
| 5 通什運備費        | 800,000   | 700,000   | 100,000    | 電話・切手送料          |
| 6 消耗品          | 50,000    | 50,000    | 0          |                  |
| 7 印刷製本費        | 200,000   | 200,000   | 0          | 事務用消耗品           |
| 8 印刷製本費        | 350,000   | 300,000   | 50,000     | 印刷・製本            |
| 9 水道光熱費        | 760,000   | 560,000   | 200,000    | 家賃               |
| 10 水道光熱費       | 200,000   | 505,000   | -305,000   |                  |
| 11 役員手当        | 100,000   | 114,000   | -14,000    | 慶弔費等             |
| 12 役員手当        | 210,000   | 210,000   | 0          | 役員手当             |
| 13 雑費          | 60,000    | 60,000    | 0          | 管理雑費             |
| 2. 事業費         | 2,750,000 | 2,741,000 | 9,000      |                  |
| 1 会誌発行費        | 1,000,000 | 1,003,000 | -3,000     | 会誌発行費            |
| 2 用紙購入費        | 80,000    | 81,000    | -1,000     | 用紙購入費            |
| 3 図書頒布関係費      | 40,000    | 34,000    | 6,000      | 図書頒布関係費          |
| 4 表示板印刷代       | 40,000    | 63,000    | -23,000    | 表示板印刷代           |
| 5 各委員会費        | 1,100,000 | 1,100,000 | 0          | 各委員会費            |
| 6 福祉相談・建築相談    | 150,000   | 170,000   | -20,000    | 福祉相談・建築相談        |
| 7 調査・研究負担分     | 10,000    | 10,000    | 0          | 調査・研究負担分         |
| 8 講習会費・二級製図講習会 | 180,000   | 180,000   | 0          | 講習会費・二級製図講習会     |
| 9 事業会費         | 150,000   | 100,000   | 50,000     | 事業会費             |
| 3. 積立預金支出      | 100,000   | 250,000   | -150,000   |                  |
| 1 退職給与積立       | 0         | 150,000   | -150,000   |                  |
| 2 積立預金支        | 100,000   | 100,000   | 0          |                  |
| 3 特別事業積立       | 0         | 0         | 0          |                  |
| 4. 繰入金支出       | 0         | 0         | 0          |                  |
| 1 繰入金          | 0         | 0         | 0          |                  |
| 5. 予備費         | 100,000   | 100,000   | 0          |                  |
| 1 予備費          | 100,000   | 100,000   | 0          |                  |
| 合計             | 9,000,000 | 9,900,000 | -900,000   |                  |

(注) 歳出予備額に過不足を生じたときは、理事会の承認を得て彼此流用できる。

平成20年4月24日

社団法人 静岡県建築士会静岡支部

支部長 内野政明

## 改革元年

支部長 内野 政明



会員の皆様に於かれましては日頃より建築士会活動に対し、ご理解とご尽力を戴き誠にありがとうございます。私はさる4月24日の支部総会において18年度、19年度の1期2年に引き続き、静岡支部長をこの先もう1期2年お引き受けすることになりました。

私が支部長を続投する意を決したのは、本年年頭の「ねりん」でのご挨拶でも申し上げた通り、(社)静岡県建築士会が平成20年度から21年度に掛けて、公益社団法人化するということと、ブロック化を推進するという2つの大きな組織改変を行なおうとしていることが挙げられます。

さらにこの2つの中でもブロック化ということに関して言えば、現在17ある支部を東・中・西の三部ブロックに分け、支部の活動や事務を集約するというので、それに伴い何らかの問題点や課題が支部側にも出てくるのが予想されます。

そこで本年度より静岡支部では、ブロック化ということに焦点を絞ってブロック検討委員会を支部内に発足させ、6月より活動を開始する予定となっております。この委員会の活動内容については皆様にも折に触れ、「ねりん」やその他、情報媒体にてお知らせしていくつもりです。

この委員会の目指すところは、ブロック化を理解していくということに一意義があります。しか

しその先に今まで静岡支部が催行してきた、静岡市民や社会から高い評価を受けていると思われる様々な活動の継続が、ブロック化による支部活動の集約により活動形態が変わっていった時、この様に社会から評価されている活動が後退してしまったり、継続出来なくなる様な事態を是非とも避けたいということです。またブロックと各支部との関係の整合性を進んで図り、その中で静岡支部が率先して指導的な支部になるべくところにあります。そのためにはブロック検討委員会において、他支部委員会へのアプローチの方法や、他支部を取り込んでの委員会活動の方法の研究、委員会メンバー構成の検討等、より具体的な議論が出来たらと思っています。また静岡支部単独では解決出来なであろうブロック及び支部の財政計画や事務局問題等にも、他支部に積極的に発言出来る体制づくりを目指していくつもりです。

この2年間で支部にとっても、私にとっても正念場であると肝に銘じて行動していく所存です。会員の皆様にはより一段のご協力をお願いするかもしれませんが、その折には是非ともご協力の程をよろしくお願い致します。

最後に会員の皆様方の益々の発展とご活躍を祈願いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

## 恒例親睦会

総会も滞りなく終了し、恒例の親睦会が行なわれた。内野支部長の開会の辞、御来賓によるお言葉の後乾杯。以降、寛いだ雰囲気での歓談。コース料理にアルコールも入り、各テーブルからは笑い声が溢れていた。

合間には木遣り斉唱、マジックショー、聞酒、など豪華な催しが行なわれ、総会に引き続き、親睦会も無事終了された。

閉会の後は、帰宅された方もいれば、お仲間と共に街に繰り出した方も少なくなかった様だ。

今年度は、広報委員会が親睦会の担当でしたが、何とか閉会まで漕ぎ着けることが出来、ほっとするとともに、皆様のご協力に感謝いたします。

(編集)



内野支部長の開会の辞



木遣り歌い隊のみなさん



石川氏の華麗なマジックショー

# 平成20年度通常総会開催

平成20年度体制、新役員でスタート 新支部長は水野康男氏（焼津）



去る4月24日、島田市の大井神社宮美殿において、平成20年度（社）静岡県建築士会志太支部通常総会が開かれました。

総会に先立ち、（財）静岡県建築住宅まちづくりセンターの、常務理事の榊原富士男様と、調整役の北川昭治様による法令講習会「改正建築基準法のその後について」が行われました。その後、行政連絡、賛助会員（㈱日本防災システム、㈱エクスワタナベ、東海ガス㈱）の紹介が続き、休憩をはさんで通常総会が開かれました。

三津原総務委員長の司会進行の下、岡本副支部長の開会の辞で始まり、綱領唱和の後、物故者への黙祷（青島勇氏）が捧げられ、次いで石川支部長の挨拶、永年会員への感謝状贈呈（黒柳俊弘氏、平口照司氏、石神春雄氏）、新入会員紹介に続いて、総会議長として本多正行氏が選出されました。資格確認後、議事に入りました。平成19年度事業報告、会計報告、平成20・21年度役員選出が行われ、新支部長の水野

康男氏の挨拶、平成20年度事業計画、及び予算が、質疑応答を挟みながら審議され、賛成多数で可決されました。

総会後の懇親会では、水野新支部長の挨拶、森本良氏の乾杯の音頭で始まり、アトラクションのマジックショー、ビンゴ大会等で大いに盛り上がりしました。

また会員相互の情報交換・親睦を大いに深めておりました。（業務報酬、土会のブロック化&公益法人化、基準法改正、建築士試験、CPD・・・。5/17・18の5支部対抗サッカー大会・前回の志太塾テニス合宿&テニス同好会、趣味の話・・・等々。）

まだまだ話は尽きないようでしたが、岩崎利明氏の一本締めにて和気あいあいのうちに懇親会も閉会いたしました。



（財）静岡県建築住宅まちづくりセンター、榊原富士男様（左）と、北川昭治様（右）



懇親会でのマジックショー

## 平成20年度 通常総会議事録

議事録作成人 滝井洋一

開催日時 平成20年4月24日(木) 16:45～  
場 所 大井神社 宮美殿

### 1. 開会の辞

副支部長岡本氏が開会を宣言した。

### 2. 綱領唱和

青年委員長中村氏が建築士会綱領を唱和した。



### 3. 物故者の黙祷

本年度亡くなられた青島勇氏に対して黙祷を行った。

### 4. 支部長挨拶

この2年間皆様に支えられ支部長を務めあげることができました。役員皆様に感謝申し上げます。昨年12月16日に2年間をかけて準備した50周年記念式典が盛大に行われました。絵画・作文コンクールの募集には会員の皆様のおかげで、345点の作品を集めることができ大変うれしく思いました。小学生には建物に対して興味を持ってもらえたことと自負致しました。古民家古建築の調査活動と保存活動への取り組みも始めました。本会組織変え(県を東中西の3ブロック)について会員へ説明と志太支部の今後の対応はこれからの大きな問題です。現在は建築基準法、建築士法の改正や資材高騰、少子高齢化に伴う厳しい不況感の漂う建築業界です。環境破壊時代といわれる21世紀を建築士として生き抜くために、村興し、町興し等に積極的に参加し建築士としての地位を築いていかなければなりません。そこで今年度は18年度県より業務移管された「大井川中流域景観育て」の組織を引き継ぎ、景観形成特別委員会を置くことにしました。また来年3月には富士山静岡空港が開港します。積極的に海外にも出かけましょう。

### 5. 感謝状贈呈

永年会員(平口照司氏・石神春雄氏)に対して感謝状と記念品の贈呈を行った。(黒柳俊弘氏欠席)



### 6. 新入会員紹介

新入会員10名の内、本日参加の3名(峯野吉弘氏・塩見寛氏・井本大弉氏)を総務委員長が紹介した。

### 7. 議長選出

司会者一任の声が掛かり、司会者が本多正行氏を指名し全会一致で選出された。



### 8. 資格承認

正会員総数236名 出席正会員総数165名(出席者88名、委任状提出者77名)を確認し、支部規約第14条「総会は、正会員の3分の1の出席」より総会の成立を認めた。

議長より議事録署名人が増田三千男氏(藤)滝口達郎氏(焼)に指名され承認された。

### 9. 審議事項

#### 第1号議案 平成19年度 事業報告

総務担当副委員長岡本氏より総括が、三津原総務委員長、永井広報委員長、会員委員会(増田氏)、曾根事業委員長、脇坂青年委員長、酒井50周年特別委員長より各事業報告がされ、異議無く全会一致で承認された。

第2号議案 平成19年度 収支決算報告、会計監査報告  
寺尾会計より収支決算報告され、森本監事が会計監査報告をした。

#### 質疑応答

19年度収支決算報告について質疑 (伊村氏)

1. 50周年記念事業 会計が特別会計から支出されているが根拠は?
2. 地区活動助成金300,000円の根拠は?
3. 地域活動支援費50,000円の根拠は?
4. 基本財産積立金の目的、利用の仕方は?
5. 事業調整積立金目的、利用の仕方は?



#### 応答

1. 50周年記念事業の作業が通常の事業活動と重なる部分が多く、特別会計より支出した。(石川支部長)
  2. 各委員会の努力により予算が余ったので日頃予算不足に悩む、3地区への平成20年度の活動費として分配した。(石川支部長)
  3. 地域活動支援費を各支部に募ったが希望が島田支部のみでそのまま使った。(石川支部長)
  4. 本来は支部事務所建設のため、先代が積立始めた財産と聞いている。(寺尾会計)
  5. 不足する事業予算の予備として先代が積立始めた財産と聞いている。(寺尾会計) 以上
- 質疑応答後、全会一致で承認された。

第3号議案 平成20年度役員選出・支部長挨拶  
新規役員提案を三津原総務委員長が行い、全会一致で承認された。

新旧役員が交代して水野康男新支部長が挨拶をした。

水野康男新支部長挨拶

突然の支部長指名でしたが、長年諸先輩のお世話になって

## 志太支部

おり少しでも恩返しできればと、お受けすることにしました。今年度は建築士会の公益社団法人化の問題や、支部組織の県3ブロック化（清水、静岡、志太、榛原、官公庁が中部ブロックに）の問題等いろいろ大きな課題が山積んでいます。組織変更の会員への浸透や上部、下部組織のすり合わせ、時間調節等ありますが計画どおり進んだ場合は本年が旧組織の最後となります。仮に新組織に移行した場合は旧組織は解散になり平成21年度は藤枝から新支部長をお願いします。建築基準法大改革や厳しい経済環境の中、大変忙しいとは思いますが、通常の支部活動も並行して行いますので積極的に参加され、協力して下さいをお願いします。

### 第4号議案 平成20年度 事業計画（案）

滝井新総務委員長より上程され異議無く全会一致で承認された。

### 第5号議案 平成20年度 収支予算（案）

鈴木新会計より上程され異議無く全会一致で承認された。

### 第6号議案 支部規約の一部改正について

滝井新総務委員長より上程され異議無く全会一致で承認された。

### その他 質疑応答

設計料のその他について（望月氏）

1. 建築基準法改正以来、大幅に作業量が増加したが設計料に反映されることはなく、大変である。以前のように

に建築図書作成に伴う作業量の基準となる基準料金表のようなものを独占禁止法にふれないような形で新たに作成できないか？

応答

1. 国交省でも告示1206の現在検討中である。（伊村氏）
1. 直接仕事にかかわることであるため、事業委員会等で検討します。（水野支部長）

都市計画申請手数料について（吉田氏）

1. 建築士会作成の10年以前の金額が行政書士会の金額に比べ、3分の1程度であり現在でもそれが基準となっており大変迷惑している。

応答

1. 建築士会と行政書士会は異なるのでこの場でこの議論はそぐわないのでは（議長）

以上で審議事項は全て承認され議長は解任された。

司会者が滝井新総務委員長に交代した。

### 10. 祝電披露

小林総務委員が祝電4通を読み上げた。

以上をもって議事全部を終了し、午後6時10分に滝口焼津地区副支部長が閉会を宣言した。



## 水野康男新支部長挨拶

(4月24日、建築士会志太支部通常総会より)



野康男です。

自分自身は、まだまだ若いつもりでおりましたが、気が付けば還暦も近い年になっておりました。そんなときに支部長の器ではない私に支部長のはなしがあり、順番という事なのでお受けする事としました。諸先輩方には大変お世話になりましたので、多少なりとも皆様のお役に立てるようにと考えております。実感として、そのような歳になったのかなとも思っています。

さて、今、建築士会は大変革の時期に差し掛かっております。連合会の公益法人化に伴い、平成21年度を目標に公益法人化、すなわち公益社団法人になる事、もう一つは、将来構想推進特別委員会にて長い間検討されている「東、

日頃建築士会の事業にご理解をいただき、まことに有難うございます。

平成20、21年度支部長を勤めさせていただく事となりました焼津地区の水

中、西」のブロック化であります。

建築士の登録事務を行う指定機関には公益社団法人が要件となっている為、公益法人化を目指しているとの事ですが、それには組織改革が必要となり、理事定数、委員会、委員数やシステム変更等が伴うこととなります。

又、ブロック化については、支部を存続しつつブロックを中心とした事業活動を行うこととなります。このことが経費の節減や会員の拡大にどのように影響するかはわかりません。

これらの事項はすでに昨年の県本会総会や機関紙「建築静岡」にて発表承認済み事項だそうです。しかしながら、一般会員に周知徹底できているのかは、はなはだ疑問であります。

どちらにしても、これらを車の両輪として平成21年度より実施予定ときいております。そうなった時は、平成20年度全役員辞任となり、平成21年度は藤枝地区に支部長をお願いする事となります。一般社団法人最後の支部長として、次の公益社団法人へのスムーズな移行、ブロック化の準備等にすぐに取りかからなければなりません。

建築基準法や建築士法の大改正のなか、勉強を余儀なくさせられており御忙しいでしょうが、今までの継続事業は全て行うつもりですので、皆様の御協力をお願いいたします。

大いに勉強し、大いに懇親を深め、楽しく事業を進めていく所存ですので、これからも積極的に会に参加される事をお願いしまして挨拶に代えさせていただきます。

## 石川吉男前支部長よりご挨拶

(4月24日、建築士会志太支部通常総会より)



皆様こんにちは。本日で2年間の任期が終わろうとしています。この2年間皆様に支えられて何とかやってまいりましたが、私自身日本を留守にする機会が非常に多く、役員の方にはご迷惑をかけたことを、この場を借りてお詫び申し上げます。この2年間いろいろな事がありました。

まずは、2年間にわたり計画、実行した50周年記念、11月16日には記念式典が盛大に行なわれ、記念事業につきましては小学生を対象に絵画、作文コンクール。思ったより多数の出品があり、子供らに建物に対する夢と希望を与え、建物に対し、興味を持っていただいたことと思います。また、古民家、古建築物の発掘については、ごく一部ではありましたが、調査発掘をシマップにしてみました。この記念事業につきましては世間より大変良い評価を頂きました。この古民家、古建築物の発掘と保存については、今後、ますます発掘に試み、建築士の遺産として守り、保存していく方法を考えていただきたいと思います。

それから、平成17年の姉歯事件から、法の改正、士法の改正と目まぐるしい2年でした。

それから、本会の組織替え。これはまだ会員の皆様には理解されていないと思いますが、現在は、社団法人静岡県

建築士会であるが、平成21年から公益法人に変えるということで議論されています。よって、県内を東中西3ブロックにし、中部4支部と官公庁の5支部が1つの中部ブロックとしてまとめ、今まで支部で活動してきた事業をブロックで活動するという事で進んでいます。志太支部は、ご存知のとおり、他支部とはことなり、支部の中が3地区に分かれているので、ますますややこしくなってしまうのではないかと懸念しています。

それから、地理的条件が大きく変わろうとしています。金谷町が島田に合併、そして、川根町が島田に合併。今後、焼津大井川、藤枝岡部と合併の話が進んでいます。志太支部も3市1町と変わっていくでしょう。

それから、最近の建築業は非常に不況感を漂わせています。原因は、昨年の確認機構の改正を発端に、建築資材の高騰、高齢化社会、少子化と悪材料がいっぱいです。21世紀は環境課題の時代、と言われていています。今後我々建築士が生き延びる為には、村おこし、町おこし等に積極的に参画し、建築士としての地位を築いていかなければならないと思います。よって、まずは、次年度に特別委員会を設ける事にしました。その特別委員会とは、18年度に県より景観整備機構の業務委託を受け、大井川中流域景観育て、と題し、2年間調査研究をしてみたいです。よって、この調査委員会をそのまま生かして景観形成特別委員会を設ける事にしました。

もうひとつ、これは余談ですが、来年3月に富士山静岡空港が開港します。私の第2の故郷であるタイにチャーター便を飛ばして、皆で行こうではありませんか。皆様の参加を期待しています。

最後に、建築士会の発展と、皆様のご繁栄と、ご健勝をお祈りしまして支部長の挨拶といたします。有難うございました。



### 総会レポート

静岡県建築士会榛原支部平成 20 年度通常総会が 4 月 25 日(金)、県議会議員大石哲司様、大石裕之様をはじめ大勢の来賓の方々に御出席いただき、榛原町文化センターで開催されました。

松下支部長の挨拶の後、議事に入り、平成 19 年度事業報告、収支決算書の報告があり共に承認されました。ひきつづき、平成 20 年度事業計画案、収支計画案についても審議、承認されました。議事終了の後、永年会員表彰があり、本年度は、松下好宏支部長が会員歴 25 年の表彰を受けました。沢山いただきました祝電を披露し、盛会のうちに総会を閉幕しました。

総会終了後、県御前崎土木事務所建築住宅課より講習会が行われました。

### 平成 20 年度事業計画

建築士として社会における人間の資質が問われている今日、居住者の安全を守るという社会

的使命を再確認しつつ、建築士の品位の保持とその業務の進歩改善を図ることを目的として、各種勉強会、講習会、各団体との交流研修会等を通じ支部組織の活力に満ちた活発な事業活動を実施する。

### 榛原支部の今年度の主な事業計画

#### 1. 会員委員会

- (イ) 会員の増強
- (ロ) 福利厚生事業 研修旅行等
- (ハ) 他団体との勉強会
- (ニ) 他委員会との連携

#### 2. 青年委員会

- (イ) 榛原支部ホームページ運営
  - 1.定期的な更新
  - 2.他委員会、事務局からの報告等 UP
  - 3.一般の方への支部のPR活動
  - 4.本会、情報管理特別委員会との連携
- (ロ) 本会青年委員会への活動協力



- (ハ) 南安曇支部との交流会の対応
- (ニ) 他委員会主催の行事開催協力

### 3. 広報委員会

- (イ) 支部広報誌「建築はいばら」の企画・編集・発行
- (ロ) 本会広報誌「建築静岡」への編集協力
- (ハ) 建築士会のPR
  - \* 支部内イベントへの参加
  - \* 対外誌発行の企画
  - \* 支部広報誌置き場の依頼
- (ニ) 他委員会主催の行事開催協力
- (ホ) 中部ブロック広報誌発行への参加

### 4. 事業委員会

- (イ) 法令（改正県条例など）についての勉強会の開催
- (ロ) 建築士会のPR及びTOUKAI-0の普及を兼ねて支部内イベントへの参加
- (ハ) 他委員会主催の行事開催協力

### 松下支部長挨拶

榛原支部長を拝命して2年が経過しましたが、この任期中は建築基準法及び建築士法の改正により今後の業務のあり方を、改めて見つめ直す期間であったかと思えます。また我々建築業界を取り巻く大きな社会情勢の変化の中で、建築士会の存在意義の確認と組織改革を進めるべく、本会支部とも議論を重ねてきた時期でした。皆様もご存知のように昨年の本会総会にてブロック化に移行する基本方針案が承認され、今後21年度より始まるブロック化の運営に向けて、

支部どうしの活発な意見交換をしながら、よりよい組織作りに進んでいくよう議論を展開していくと思われまふ。今後の状況については本会支部の広報紙及びホームページを通じて経過をお知らせしていきますが、なかなか理解しにくい事柄でもありますので、改めて支部内に意見集約の場をつくり、会員相互の理解と確認が得られるよう努めて行きたいと思っています。

さらに会の運営につきましては、今年も地域に根ざした支部のPR活動を積極的に行い、地元の方々に信頼される建築士の団体としての榛原支部をアピールしていく所存です。

最後に本年度も各委員会を通じて、会員の皆様によりよい情報提供と会員相互の親睦を図るべく支部の運営に努力して行く所存ですので、皆様方のご支援ご協力をよろしくお願い致します。



大石哲司県議あいさつ



大石裕之県議挨拶



講習会

## 御前崎灯台展

2008.5

私たち榛原支部では2006年5月より御前崎灯台の歴史的価値を次の世代に継承するとともに地域活性化にも役立てようとはじめた「御前崎灯台を守る会」の活動に参加しています。今年はその活動も3年目を迎えより精力的に地域の皆さんとともに楽しくにぎやかに活動の輪を広げています。



今年もゴールデンウィーク恒例の行事となっている「御前崎灯台まつり」が5月3日より5日まで盛大に開催され、入場者も3日間で2000人を数えました。

会場の御前崎灯台には臨時の資料館がもうけられ、江戸時代よりの灯台（灯明堂）の資料や現在の灯台に関係する数々の資料が展示紹介されました。また映画「喜びも悲しみも幾年月」の撮影場所となった当地の昔の撮影風景を紹介する写真などもたくさん展示されました。外では市民から寄付してもらった鯉のぼりを泳がせ、地上にも鯉のぼりくぐりというコーナーを設け子供たちに楽しんでもらいました。そのほか伝統的なかつおぶしの製法を紹介する「手火山」や貝細工のコーナーなどにもぎわいを誘いました。



また今年「海上より御前崎灯台を臨む」という企画も試みられ、船の上より見た夕日に浮かぶ灯台のシルエットは御前崎ならではの捨てがたい景観と参加者の皆さんはおののちにシャッターチャンスをおねらっていました。

「灯台を守る会」ではこの後も各地の灯台視察旅行や海の記念日灯台展等の楽しいイベントを企画し積極的に活動をしていきたいと思っています。

榛原支部 川口廣司

## みどりのオアシスマつり i n 吉田町

2008.5.29

去る4月29日、「みどりのオアシスマつり」が吉田公園において開催されました。



天候にも恵まれて多くの人で賑わいました。建築士会榛原支部も参加し、起震車による地震体験コーナー、建築相談、耐震診断や耐震補強のパネル等の展示やビデオ上映、さらに、のぼり旗をたて、資料とペンシルバルーンを配布して、プロジェクト TOUKAI - 0 をアピールしました。



起震車体験

また、今回は静岡県中部防災局の方が模型による耐震実験を実施してくれました。耐震補強された住宅模型と補強なしの模型を並べて振動を加えていくと、耐震補強なしの模型が倒壊します。この実験は非常に分かりやすいので一般の方も興味深く見ていました。



左:補強あり 右:補強なし



補強なしの模型の倒壊

# 中部ブロック4支部合同誌 編集後記



本会理事  
岡山 晋也

平成16年度、当時飯田会長の時に将来構想等検討特別委員会が発足しそれから四年。既に県建築士会には、東・中・西の各ブロック会議が年に2回有り、その中で話し合われていたのは主に各支部間の情報交換や2年に1回の本会役員の選出についての協議などでした。県建築士会の組織を改革して組織の運営なども含め将来、県建築士会としてどのような組織が望ましいのかを検討する委員会が発足した訳だが、当初は、各ブロックの状況の

聞き取りから始まったと思います。各支部の会員の動静から活動内容まで様々な角度で検討し、又、県建築士会組織のスリム化を計り財政的にもスムーズに運営ができる方法を探る事だったと思います。2年位経過した頃、県建築士会の社団法人から公益法人化への話が加わって、益々県建築士会としては組織改革が急務となってきた訳ですが、支部交付金を廃して各ブロックの運営費に当てるとか、支部は無くさないとか今までの本会の常設委員会の仕事を各ブロックに新たに常設委員会を設置しそこで運営していく等の思案が出されています。又、公益法人化により県建築士会の理事の定数なども削減され、半数を外部理事とする等も検討されてきた訳ですが、ブロック化した後の事務局（各支部毎に事務内容が異なるので摺り合わせも必要）の問題、場所や人員の問題、ブロック組織の問題（評議委員会の定数・常設委員会の定数など）は早急に各ブロック毎に協議を重ねていく必要に迫られています。又、会費の徴収方法・本会会費と支部会費等も今後どのようにやっていくのか？等々問題は山積みしています。又、本会のスリム化（事業予算の振り分けも含め）の中身もキチンと見守って行かなければなりません。県理事会で色んな質問をしても現執行部からの回答はなかなかはっきりとしたものは貰えない。肝心の仕事は何も進んでいなかったのでは？いや、それは各ブロックで協議して決めていかなければならなかったのかも知れません。今、中部ブロックでは、官公庁支部を含め五支部の支部長を中心に、様々な問題に対処すべく協議会を立ち上げ検討していく事になりました。今回の合同誌の発行も今後の各支部の広報誌のブロック化？等ブロック化する事により会員のメリットになればと思いますが、それも含め検討課題のひとつかもしれません。会員の方に向けた組織改革になることを願いたいものです。



清水支部  
広報委員会  
小川 清貴

来年度からは建築士会もブロック化になるということですが、どんな組織になるんでしょうかね～、会員にはあまり情報が伝わっていないようですが……。どうやら今まで本会で活動してきたことを、ブロック単位でやろうということらしいので、やり方もかなり変わると思います。その中で、中部ブロックの各支部が合同で広報誌を発行できたことは、今後に向けて良いウォーミングアップになりました。今回合同誌を発行するために集まったのは1回だけで、後はメールのやり取りだけでした。……と言うのも静岡支部で編集から印刷、取りまとめなどの調整役を買って出たから出来たことでした。清水支部の広報委員会は、広報誌の発行体制があまりしっかりしていないので、今回は記事を集めるだけで良かったので、参加できたような次第です。楽をさせていただきました。ただ今年度は若干パワーアップしておりますので、徐々に体制を整えていければと思います。それから、清水支部では6月からブロック化準備会が発足しました。



静岡支部  
広報委員会  
佐野 真浩

今回の中部ブロック4支部の合同誌発行に際し、ご協力いただいた各支部の広報委員の皆様には厚くお礼申し上げます。中部ブロック会議、各支部広報委員の皆様との打ち合わせの中で感じたことは、支部ごとに歴史があり、背景があり、思惑があるという事で、各支部が支部存続を望んでいることです。そこで支部存続を前提に、どうせブロック化するならとプラスに考え、会報誌を合同で発行しようと各支部に呼びかけて今回の企画が実現できました。さらに、今回の企画を進めていく中で、ブロック化する事により、結果的に支部交流・情報交換・経費節減という副産物がある事に気が付きました。

今回の合同誌発行がブロック化への第一歩であり、今後、ブロック化に向けて支部の垣根を越えて、活発な意見・取り組みがなされることを期待しております。また、4支部合同誌は、今年度もう一回発行する予定です。



志太支部  
広報委員会  
森本 俊

建築士会志太支部、20年度の広報委員長を務めさせて頂いています、焼津地区の森本です。実は私、建築士会に入会してから3年目と日が浅いのですが、建築士会の公益法人化、並びにブロック化と、節目の時に広報の委員長という大役を務めることとなりました。

公益法人化等については、理事会等では常に話し合われていることですが、まだ結論が出ていない部分も多く、また、一般会員の皆様への周知もまだなされていないと思います。

今後、志太支部広報委員会としましてはこの動きに関して、担当者のコメント、議事録等を通して、逐次会報誌「うごき」に掲載をして、会員の皆様に状況をお伝えをしていきたいと考えています。

この変更では、組織をスリム化することとなっています。それに伴う経費の削減から、会員に対するサービスの向上、「入って良かった」と思われる建築士会になれば期待しています。



榛原支部  
広報委員会  
杉山 俊夫

「4支部合同誌創刊おめでとうございます。」今年の子年です。十二支の始まりは子年、一日の始まりは子の刻、方位は北で地図上で基準の上、いろいろな面で一番の基準になる干支は「子」ですね！それに掛け合わせる訳ではありませんが、今回の4支部合同誌第1号は創刊されるべくして創刊される、いえ、創刊しなければいけないのではないのでしょうか？新たな歴史の1ページかなとも思います。私は今年誕生日がきて48才の子年生まれの「年男」。榛原支部では広報委員長を承りながら、ろくに活動もせず、不平不満ばかり言っている頼りない男です。そんな私でも創刊号に係らせていただきありがたく思います。係ったと言ってもろくな事はしていませんが……。なにはともあれ、4支部合同誌の発刊はブロック化に向けて大きなステップになるのではないのでしょうか！発刊に係らせていただいた事、原稿を書いて下さった皆様方に感謝申し上げます。

編集発行 (株)静岡県建築士会 中部ブロック4支部広報委員会  
〒420-0035 静岡市葵区七間町14-16  
TEL 054-253-0519 FAX 054-253-0535  
印刷 (有)福島印刷